



読書活動日本一の

まちづくりニュース VOL. 10

編集：教育委員会読書推進課

発行：平成27年12月10日

☆「ツルと歴史のまち応援基金」を活用しました！！



ツルと歴史のまち出水市へ思いを寄せる方々に寄付金を募り、それを財源として環境保全や人材育成、観光振興などを行い、人と自然が融和したにぎわいのある元気都市を創造する「出水市ツルと歴史のまち応援基金」という制度があります。

27年度はその基金を活用して、野田図書館の多目的トイレにベビーシートとベビーチェアを設置しました。

また、中央図書館の古くなった車いすの買換え、選んだ本を運ぶのに便利なブックカートも購入しました。さらに、中央図書館のテラスにテーブルと椅子を設置し、外の空気を感じながらゆっくり読書したり、飲食しながら談笑できるスペースを整備しました。テーブルやベンチの一部は、障害者支援センターいずみ園で購入したものです。手作り感のある木製のテーブルや椅子がとても好評です。「ここはいいですね。新幹線も見ることができて。それもいいですよ。」と話してくださる方もいらっしゃいました。

☆☆☆ セカンドブック事業から ☆☆☆



出水市読書活動推進計画（第二次）4つの基本方針中、【年齢期に合わせた読書活動の推進と支援】の事業として、平成21年度から実施している「ブックスタート事業」のフォローアップ事業として平成27年4月から「セカンドブック事業」を始めました。

「ブックスタート事業」で本と出会い、読み聞かせの良さを実感した親子に、2歳児歯科相談の場で、再度、絵本を手渡し、読み聞かせを行うことにより、継続した年齢期に応じた読書活動の確立を目指し、「家読（うちどく）」の推進、ひいては、「読書活動日本一のまちづくり」実現を達成することを目的としています。



受付で、セカンドブックの概要を説明し、絵本を手渡し、問診や相談、フッ素塗布の待ち時間に絵本の読み聞かせを行っています。

会場で気が付くことの一つに、子どもたちに人気の本は、「ブックスタート事業」で配布した本であることです。自分の家に同じ本があることがうれしいようで「おうちにもあるよ」と話してくれます。ブックスタートで配布した本が活用されていることが確認できたようでとてもうれしく感じます。今後も、親子で絵本を通して、ふれあうきっかけづくりができればと思っています。

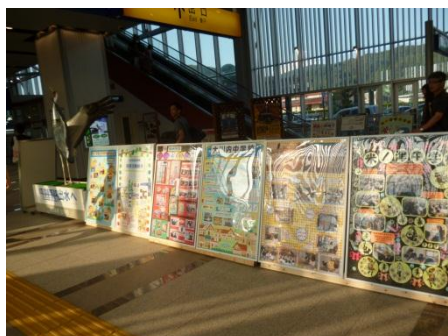
読書パネルを出水駅コンコースに展示

市立小学校（14校）・中学校（7校）、市立幼稚園（7園）、市立高等学校（1校）の読書活動の取組の様子を、それぞれの学校（園）が工夫を凝らして作成した読書パネルを帰省客の多い時期（夏休みの時期、年末年始）に、出水駅新幹線のコンコースにJR九州出水駅の協力を得て、毎年展示して



います。今年も、7月21日から8月31日まで展示しました。

29枚のパネルがずらっと並ぶ光景はとても見ごたえがあります。母校のパネルを懐かしそうに眺める方の姿を見かけると、「展示してよかった。」と心から感じます。また、帰省された方々がしばし、母校の現在の様子を知ることができる機会になればと思っています。



なお、コンコースに展示していない時期は、市立図書館（中央図書館、高尾野図書館、野田図書館）、中央公民館、市役所本庁に展示しています。

❖ 「おはなし玉手箱」楽しく開催中！❖



地域に出かけて開催しているおはなし会（おはなし玉手箱）の今年度の申し込みは、ただ今18団体です。9月末までに12会場で実施し、286人の方に参加していただきました。

大型絵本、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなど、ボランティアの方々による多彩な出し物で楽しい時間を過ごしていただいています。その様子を写真でお伝えします。

団体名	実施日	ボランティア	団体名	実施日	ボランティア
上屋サロン会	4/17	そらいろのたね	大川内小学校 児童クラブ	8/7	出水商業高校図書委員会
八幡（野田）	5/17	虹色のゆめ	切通小学校	8/21	紙ふうせん
横尾	6/14	そらいろのたね	早馬	8/23	そらいろのたね
上村東	6/20	紙ふうせん	人生大学	10/20	そらいろのたね
野添	6/20	そらいろのたね	出水養護学校	11/2	紙ふうせん
前田	6/21	虹色のゆめ	表郷東	11/21	そらいろのたね
上屋等合同	7/25	虹色のゆめ	荘小学校	12/15 予定	虹色のゆめ
六月田中	8/1	そらいろのたね	帆木ノ上	12/19 予定	そらいろのたね
出養育成会	8/2	紙ふうせん	蕨島	12/19 予定	虹色のゆめ
			西下り松	12/20 予定	紙ふうせん



野添



上村東



八幡（野田）



前田